

Q 2 : 道徳の時間の授業で、様々な資料を活用していく際の留意点を教えてほしい。

A : 道徳の時間に活用する資料には、児童生徒が人間としての在り方や生き方などについて多様に感じ、考えを深め、学び合う共通の素材としての役割がある。つまり、ねらいとする道徳的価値に関わる問題場面や状況が含まれている共通の素材を児童生徒に提供し、授業の特質である集団思考を促すために、授業では資料を活用している。
ここでは、授業で様々な資料を活用していく際の留意点を述べる。

1 資料の変更について

各主題に用いる資料は、ねらいを達成するために中心的な役割を担うものであり、指導者の恣意による変更は好ましくない。児童生徒の実態と予想される心の成長、興味や関心などを考慮し、そのことによって一層の効果が期待できるという判断が前提であり、少なくとも道徳教育推進教師を含めた同一学年やブロックの他の教師等と話し合った上で変更することが望ましい。

「私たちの道徳」や「栃木県道徳教育郷土資料集」等の資料を検討し、これまでの資料と差し替える場合は、資料名や変更理由等を年間指導計画の備考欄等に記入し、今後、校内で年間指導計画を見直す際の参考として、活用できるようにしておくことが大切である。また、扱うべき内容項目をいずれの学年でも全て取り上げているか確認することが必要である（表1）。

表1 小・中学校において指導すべき内容項目の数

視点	学年段階	小 学 校			中学校
		低学年	中学年	高学年	
1の視点	自分自身	4	5	6	5
2の視点	他の人とのかかわり	4	4	5	6
3の視点	自然や崇高なものとのかかわり	3	3	3	3
4の視点	集団や社会とのかかわり	5	6	8	10
合 計		16	18	22	24

2 資料を活用する際の留意点

(1) 学習指導案の作成時

資料の名称はそのまま記入し、その「出典」を明記する。授業参観者が、事後に資料分析を行ったり自分の授業に生かしたりする場合に、資料の出所が明確になっていることが必要となるからである。

新聞記事や一般図書、映像資料を資料として用いる場合も、制作元を含めて明らかにする。なお、自作資料の場合には、資料名の後ろにその旨を明記する。

例：資料名「クジラを救え」（出典 ○○新聞 平成25年11月1日 朝刊）

資料名「マザーテレサ」（出典 ○○テレビ「△△△」より ）

資料名「ぼくのおじいちゃん」（自作資料）

(2) テレビ番組やビデオ教材の活用

ねらいに照らし合わせ、ストーリーのどの場面でどのような発問をすることが有効か、補助教材として必要なものは何かなど、しっかりとした授業構想をもって指導することが大切である。授業構想を明確にするためには、事前にテレビ番組やビデオ教材を視聴して教材分析を行うことが必要である。

3 年間指導計画の内容について

年間指導計画は、各学校で道徳教育推進教師を中心に全教師の創意工夫によって作成されるものであり、次の内容を明記しておくことが望まれる。

(1) 各学年の基本方針

全体計画の各学年の重点目標、道徳の時間の基本方針を基に、学年ごとの道徳の時間の基本方針を具体的に示す。

(2) 各学年の年間にわたる指導の概要（例）

指導の時期	6月第1週 学年又は学級ごとの実施予定の時期を記述。
主 題 名	わがまましないで 1－(1) ねらいと資料で構成した主題を端的に表したものと及び内容を記述。
ね ら い	自分でよく考え、わがまましないで、規則正しい生活をしようとする態度を育てる。 児童生徒に身に付けさせたい道徳性の内容や観点を端的に表したものを記述。
資 料	「ぼんたとかんた」（文部科学省「わたしたちの道徳」） 指導で用いる中心的な資料の題名と出典等を記述。
主題構成の理由	主人公に共感しながら自分自身の生活を振り返り、節度ある生活について考える。 ねらいに対して資料を選定した理由を簡潔に記述。
展開の大要及び指導の方法	1 生活の中で危険を感じた経験を発表する。 2 資料「ぼんたとかんた」を読んで話し合う。 （1）かんたが裏山に入ってしまったとき、ぼんたはどんなことを思ったか。 （2）一人になったぼんたは、どんなことを考えたか。 （3）ブランコに揺られながら、ぼんたとかんたはどんなことを話しているか。 3 自分の生活を振り返って、よく考えて行動したこと、逆によく考えないでわがまましてしまったことを話し合う。 4 教師の話聞く。 ねらいを踏まえて、資料をどのように活用し、どのような手順で学習を進めるかについて簡潔に記述。
他の教育活動等における道徳教育との関連	・規範意識の指導（常時）、 ・学級活動（2）基本的な生活習慣の育成 関連する教育活動や体験活動、学級経営の取組を記述。

※この他にも、「私たちの道徳」などの関連資料の活用についての欄を設け、記入することも考えられる。

【参考資料】

- ・「小学校学習指導要領解説道徳編」
- ・「中学校学習指導要領解説道徳編」

H20.8 文科省

H20.9 文科省